



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学 知的財産シンポジウム 我が国の研究開発、社会実装の競争力強化に向けた 国際オープンイノベーションの推進に向けて

プログラム》》》

14:00 開会挨拶

植田 拓郎 | 東北大学 理事 産学連携機構長

14:05 基調講演

「グローバル競争時代において企業が推進するオープンイノベーション」

上野 剛史 氏 | 日本知的財産協会 専務理事

14:50 講演 1

「レジリエントで安全・安心な社会の構築に向けた科学技術イノベーション政策における最近の動向 ～ 経済安全保障重要技術育成プログラム (K Program) や技術流出対策における取組を中心に～」

山下 恭範 氏 | 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 (安全・安心担当)

15:15 講演 2

「東北大学の安全保障輸出管理体制と希少元素を含む超耐熱合金に関する国際連携」

吉見 享祐 | 東北大学 総長特別補佐・大学院工学研究科 教授

15:40 講演 3

「中国における知財概況・国際オープンイノベーション」

太田 良隆 氏 | ジェトロ・北京事務所 知的財産権部長

16:10 パネル・ディスカッション

「我が国の大学・企業の研究開発、社会実装の競争力強化に向けた国際的な

オープンイノベーションの推進について、経済安全保障にも配慮しつつ議論を深める」

モデレーター 坪原 和洋 | 東北大学大学院法学研究科 教授

パネラー 各講演者

17:00 閉会

*司会進行 飯野 由里江 | 東北大学産学連携機構 特任教授

主催 東北大学産学連携機構

後援 一般社団法人宮城県発明協会

2023年3月13日月曜日 14時-17時

オンライン開催 Zoom ウェビナー

近年の経済活動のグローバル化による相互依存の深化の中、さらに激化する研究開発・社会実装の国際競争を勝ち抜くには、知的財産を意識した国際的なオープンイノベーションの推進が重要であると認識しています。現在、我が国の国際特許出願件数は国際的にも高水準ですが、海外との連携水準は欧米諸国と比べると低水準であり、改善が必要であると考えています。

このシンポジウムでは、我が国の大学・企業の研究開発、社会実装の競争力強化に向けた国際的なオープンイノベーションの推進について、経済安全保障にも配慮しつつ議論を深めたいと考えています。

事務局》》》 東北大学産学連携機構 神山・水沼、東北大学大学院法学研究科 教授 戸次

*お問合せは右記 Web サイトに記載の問合せフォームよりご連絡下さい

*本シンポジウムは公益財団法人 KDDI 財団の 2022 年度社会的・文化的諸活動助成を受けて実施しています

》》》 詳しい講演内容と講演者プロフィールは裏面をご覧ください

申込方法》》》

参加費無料 | 申込順 400 名

知的財産にご興味のある方なら
どなたでもご参加いただけます

東北大学産学連携機構 Web サイト
<https://www.rpip.tohoku.ac.jp>

または 2 次元コードよりお申込み下さい

3 月 12 日迄に参加 URL を
E-mail にてお送りします



我が国の研究開発、社会実装の競争力強化に向けた 国際オープンイノベーションの推進に向けて

2023年3月13日月曜日 14時-17時 | オンライン開催 Zoom ウェビナー



講演内容と講演者プロフィール

Open Innovation

基調講演

グローバル競争時代において企業が推進するオープンイノベーション

エコシステム戦略がビジネスの成否に大きな影響を与える中で、技術力を軸とした連携を行い、国際的なオープンイノベーションを推進することが益々重要となっている。オープンイノベーションへの取り組みについて企業の視点から考えたい。

上野 剛史 氏 | 日本知的財産協会 専務理事

大日本印刷株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社を経て、2022年5月より一般社団法人日本知的財産協会専務理事。IBM 在籍時は、アソシエートパテントポートフォリオマネージャー、理事・知的財産部長、アジア・パシフィック地域知的財産責任者を歴任。弁理士。令和3年度知財功労賞特許庁長官表彰受賞。

講演1

レジリエントで安全・安心な社会の構築に向けた科学技術イノベーション政策における最近の動向 ～ 経済安全保障重要技術育成プログラム（K Program）や技術流出対策における取組を中心に ～

第6期科学技術・イノベーション基本計画や経済安全保障推進法の成立等を踏まえ、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局が中心となって進めている取り組みを中心に、レジリエントで安全・安心な社会の構築に向けて、政府においてどのような政策や施策を検討・推進しているのかについて、話題提供を行う。

山下 恭範 氏 | 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官（安全・安心担当）

京都大学工学部卒業後、1996年科学技術庁（後の文部科学省）に入庁。国際熱核融合実験炉（ITER）計画、科学技術振興調整費、文部科学省の科学技術予算の調整など、科学技術イノベーション政策全般にかかる企画・立案・調整業務に携わるとともに、環境省（庁）、IAEA、外務省（在ロシア日本国大使館）、内閣官房（まちひとしごと創成本部事務局）に出向。現在は、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局において、経済安全保障に関する業務に従事。政策研究大学院大学博士課程（科学技術イノベーション政策プログラム）単位取得満期退学（2016年）。

講演2

東北大学の安全保障輸出管理体制と希少元素を含む超耐熱合金に関する国際連携

学内の安全保障輸出管理体制に則った国際共同研究のあり方や情報発信に対して、講演者の研究開発領域である超耐熱合金に関する工夫や苦悩を紹介します。

吉見 享祐 | 東北大学 総長特別補佐・大学院工学研究科 教授

愛知県岡崎市出身。1987年東北大学工学部金属物性学科卒業。1997年から99年まで米国オークリッジ国立研究所でモリブデン系金属間化合物の研究に従事。2013年より現職。2015年から2019年まで安全保障輸出管理委員会委員長。2021年から日本金属学会副会長、日本学術振興会耐熱金属材料第123委員会委員長。2022年から文部科学省データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト事業の東北大拠点長。

講演3

中国における知財概況・国際オープンイノベーション

近年の中国では知財の取得に加えて知財の活用が注目されています。他方、国際オープンイノベーションによる中国企業等との技術契約には多くの留意事項があります。本講演ではこれら中国知財概況や技術契約について御紹介します。

太田 良隆 氏 | ジェトロ・北京事務所 知的財産権部長

2002年特許庁入庁。特許審査第二部（運輸、生産機械、生活機器）で、自動車技術、MEMS、照明装置、電子たばこ等の特許審査業務に従事。また、審査企画室、審査基準室、情報技術統括室等において、特許審査の国際協力、特許分類、特許審査のためのITシステム、特許審査基準等の業務に携わる。2022年7月よりジェトロ北京事務所の知的財産部長。

Economic security

パネル・ディスカッション

我が国の大学・企業の研究開発、社会実装の競争力強化に向けた国際的な オープンイノベーションの推進について、経済安全保障にも配慮しつつ議論を深める

モデレーター 坪原 和洋 | 東北大学大学院法学研究科 教授

2003年警察庁入庁。兵庫県生田警察署、同警察本部暴力団対策第二課、警察庁警備企画課、同交通企画課、同給与厚生課、人事院給与第三課課長補佐、福岡県警察公安第一課長、警察庁総務課課長補佐、東京都青少年課長、同都民安全推進課長、警察政策研究センター主任教授兼企画課付等を経て2021年8月より現職。